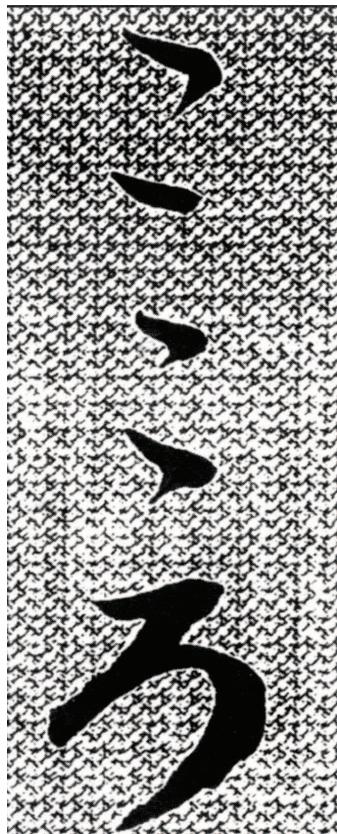


「同窓会設立50周年に向けて」 皆さんと共に 大家会長



皆さん、いかがお過ご
ですか？
平素は、同窓会の活動
に、ご支援、ご協力をいた
だき厚くお礼申し上げま
す。今年は、新型コロナ
ウイルス感染症の関係に
より、5月末日まで、私
たちの活動は安全を最優
先に考え休止とさせてい
ただきました。しかし今
後は、感染を防ぐために
「密閉」「密集」「密接」
の3つの「密」を意識し、
工夫を凝らし今出来るこ
とを積み重ねていきたい
と考えます。共に頑張り
ましょう。

7
2
年
5
月
28
日
設
立
2

さて、同窓会は、19
年後創立50周年を迎えま
す。この間、県、県青少
年本部等関係団体のご支
援、会員の皆さんのご理
解ご協力のもとに今日を
迎え、来る50周年を迎
えることが出来るものと
感謝しています。同窓会
の活動も、社会ニーズの
変化により多様化し色々
な変遷を経て今に来てい
ます。今後も、同じ経験
をした仲間と共に、活動
を展開していきたいと思
います。

周年事業を実施するに
あたり、同窓会に50周年
特別委員会を設置し検討
してまいります。皆さん
からのご意見もお願いい
たします。

次へのステップに繋が
る事業となるよう、歴史
の中で培った「こころ」と
「なかま」、その原点
を振り返り、皆さんと共に
に取組んでいきましょ
う。

沖縄交流が2月21日～23
日開催されました。2年
ぶりの開催で有志11人が
来沖、今回の目的は、昨
年10月に本殿等が焼失し
た首里城の復旧復興の
為、兵庫県のメンバーか
らの寄付金からなる支援
金を同窓会の想いを直接



沖縄交流・ 首里城復興支援

発行所
兵庫県青年洋上大学同窓会
〒650-0011
神戸市中央区下山手通4-16-3
兵庫県民会館7階
TEL&FAX:078-891-7419
URL :<http://hyogo-yodai.net>
E-MAIL :info@hyogo-yodai.net
発行人：大家 重明



届け、併せて沖縄地区会員との交流を深めるこ
とでした。
2回目を迎えた交流事
業は再会メンバーも多く、和氣あいあいと樂しく視察、研修、交流が進
みました。兵庫、沖縄友愛運動のきっかけとな
った故島田知事の顕彰碑の訪問をはじめ、沖
縄空手会館、国立劇場おきなわ、ユンタンザミュー
ジアムで読谷村の歴史、文化芸術を学び、様々な
活動も、社会ニーズの変化により多様化し色々な
変遷を経て今に来ています。今後も、同じ経験
をした仲間と共に、活動を展開していきたいと思
います。

親睦交流会には沖縄県側から7人が参加。大家
会長の「太く長く、交流活動が続けたい」との乾
杯の発声からスライドショード更多的な紹介が
始まり、沖縄三線ありヨーあり、沖縄三線あり
で更なる絆が深まりました。

そして支援金が沖縄メンバーに託され、その後、
読谷メンバーで支援金の窓口である新聞社へ届け
ました。兵庫県の皆様の暖かいご支援に心より感謝申しあげます。尚、活動状況は沖縄タイムス・琉球新報両紙面に紹介され連絡が取れない会員に届けばと思いました。國吉眞哲(兵6沖縄)

えにし縁

僕はこのときまだ海外に行つたことがなく、好奇心と、いろんな人と関わるという期待で応募しました。洋大的な参加者には、大学生だけでなく、普段関わる事のない社会人の方々もおられるといふことを聞いて、どんな話をされるのだろうという楽しみがありました。洋大に参加してよかつたなと思うことは、バトンマムに行って観光や学校訪問をすることももちろんそうですが、出発前に班に分かれて目標を決めたり、それを発表したりと、初めて会う人たちと一緒に決めるのにもいろんな意見があり大変でしたが、その中でも折り合いをつけて決めていくことがで出来ました。大学にいるだけではできない経験をできたと思います。あと、毎夜の飲み会は最高でした。笑

(塾5神戸)です。

山口耕平(塾5西播磨)
※次回は杉原詩織さん

コロナ対策のため書面にて開催 第1回地区代表者会

令和2年度 役員・顧問	
会長	大家重明 (兵5)
副会長	村上友江 (兵6)
副会長	中川たみ子 (兵18)
副会長	松井豊仁 (塾2)
会計長	芦谷恒憲 (近11)
事務局長	新庄和文 (兵17)
神戸地区代表	大西清吉 (兵29)
阪神地区代表	円嗣久 (兵26)
東播磨地区代表	井上能嗣 (兵29)
西播磨地区代表	山本川和司 (兵32)
但馬地区代表	長谷川薰 (兵25)
丹波地区代表	村上隆 (勤4)
淡路地区代表	方山貴 (兵32)
沖縄地区代表	土井真哲 (兵6)
監事	國吉哲泰 (近11)
監事	春名伸泰 (兵6)
監事	永友健一 (青少年本部)
顧問	高橋守雄 (兵1)
顧問	板橋利喜造 (兵2)
顧問	山下剛史 (近11)
顧問	富永千世 (兵19)

令和元年度決算	
(単位:円)	
【収入の部】	
会費収入	344,000
事業収入	450,600
補助金収入	1,718,327
雑収入	58,702
引当金	838,743
計	3,410,372
【支出の部】	
基本事業	2,510,622
国際事業	73,420
青少年事業	290,359
社会貢献事業	124,457
引当金	411,514
計	3,410,372

令和2年度予算	
(単位:円)	
【収入の部】	
会費収入	320,000
事業収入	1,100,000
補助金収入	1,963,000
雑収入	12,000
引当金	711,514
計	4,106,514
【支出の部】	
基本事業	3,099,000
国際事業	80,600
青少年事業	586,000
社会貢献事業	151,000
引当金	189,914
計	4,106,514

令和元年度事業報告

月 日	内 容	場 所
4月20・21日	第1回地区代表者会	神戸市(あわせの村)
5月5日	こどもフェスティバル	姫路市(県立こどもの館)
5月26日	日帰り型体感教室(竹の子とり)	神戸市北区大沢町
6月8日	謎解きラリー	神戸市(みなとのもり公園)
7月7日	おやじ会	神戸市(兵庫県民会館)
7月20・21日	海外養成塾事前研修会	神戸市(自治研修所)
8月4日	日帰り型体感教室(どろんこキッズ)	神戸市北区大沢町
9月1日	海外養成塾直前研修会	神戸市(自治研修所)
9月16日	海外養成塾見送り	関西国際空港
9月21日	海外養成塾出迎え	関西国際空港
10月13日	海外養成塾後研修会	加古川市(OAAはりまハイツ)
10月26日	第2回地区代表者会	神戸市
11月17日	神戸マラソン	神戸市
12月8日	クリスマスリースづくり【神戸地区】	神戸市垂水区
1月13日	新春のつづい	神戸市(兵庫県民会館)
2月21～23日	沖縄訪問事業	読谷村
3月1日	いちご摘みとデザートづくり	【新型コロナウイルス 対策により中止】
3月8日	街歩き【阪神地区】	【新型コロナウイルス 対策により中止】
3月14日	街歩き【西播磨地区】	【新型コロナウイルス 対策により中止】
3月20・21日	春のいしまを体感する	【新型コロナウイルス 対策により中止】

令和2年度事業計画

月 日	内 容	場 所
4月28日	第1回地区代表者会	書面開催
7月7日	おやじ会	【新型コロナウイルス対策により中止】
8月2日	日帰り型体感教室(どろんこキッズ)	神戸市北区大沢町
10月11日	日帰り型体感教室(芋ほり)	神戸市北区大沢町
未定	第2回地区代表者会	阪神地区
11月8日	謎解きラリー	神戸市(みなどのもり公園)
11月15日	神戸マラソン	【新型コロナウイルス対策により中止】
12月6日	クリスマスアレンジメントづくり【神戸地区】	神戸市垂水区
1月24日	新春のつどい	神戸市(兵庫県民会館)
未定	日帰り型体感教室(いちご摘みと科学工作)	神戸市北区大沢町
3月13日	街歩き【阪神地区】	未定
3月27・28日	宿泊型休憩教室	姫路市(いっしょしま自然休憩センター)

※上記計画は、変更される場合があります。



ガイと言う名前の木の葉で作る方法を教えてもらいました。一本ずつ花冠

区勤労市民センターの会議室にて、クリスマスリースとお正月の飾りを講師の方に教わりながら、参加者の方に作ってもらいう教室を開きました。

手作りを楽しもうー

神戸

た稻穂を使ねせていた
ました。

区勤労市民センターの会議室にて、クリスマスリースとお正月の飾りを講師の方に教わりながら、参加者の方に作つてもらひ教室を開きました。今回はクリスマスリー

スによる土台の輪をカスカイと言う名前の木の葉で作る方法を教えてもらいました。一本ずつ花冠

ながら1時間ほど作業は自然の木を用意していくので葉の多さや時間がかかるてしまいまさが違う為、試行錯誤を行いました。それぞれの個性をふれるリースを作る事ができました。お正月の竹リースは、紅白の水引を使たしめ縄飾りを教えてもらい、講師の方がこの竹の為に栽培してくださいま

力依頼を受けました。 県民の命と生活を守るために、人手や物資が不足する中、日夜、疲労を抱えつつ感染の不安と闘いながら、命がけで現場で奮闘しておられる医療従事者の方々等への支援を行ふため、「ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金」(新型コロナウイルスと闘う人たち応援prus

ロジエクト」に協力いたします。7月末まで支援基金の募金を続けています。入金された寄附は、同窓会として指定返込先へ振り込みをします。寄付金額が集計され、同窓会として報告します。

新春のつどい 2020

共に創る航路



1月13日(月・祝)、兵庫県民会館にて新春のつどいを開催しました。井戸戸知事をはじめ多くの来賓の方に参列いただき、同窓会活動の紹介、第5回海外養成塾の学生による活動報告、抽選会など様々なプログラムを行いました。

今回、養成塾5回生の杉下さんが所属する甲南大学和太鼓サークルにご縁で出演していただき、オープニングと中間演奏、抽選会のバツクミュージックでつどいに華を添えていただきました。因みにオープニングやアトラクションは毎年違つており、毎回楽しめるものになっています。

また参加者の年齢も様々で、毎年、このつどいで会えることを楽しみにしている人もいて親睦の場になっています。さらには、私が洋大に参加して10年の節目であり、兵庫32回生の同窓会も兼ねていました。それ以来、同窓会活動に携わっていることになりますが、あつという間でした。

情報を参考にし、自分なりに整理し準備を進めてきました。これまでには一人の実行委員(スタッフ)として参加してきただけで、正直、できるかどうか不安もありました。そういう状況であっても分からぬいところは教えてもらいながら準備を進めてきました。資料の整理や打ち合わせで仕事終わりに同窓会室に出向くこともあります。時間に追われている感じがしていました。それでも周りのたくさんの方々のサポートを受け、無事に終えることができました。

このつどいを振り返ると、10月の地区代表者会で副実行委員長に決まり、前任者からの資料を

初めての同窓会活動！

神戸マラソン給水ボランティアに参加して

11月17日、第9回神戸マラソンの給水ボランティアに参加しました。きっかけは第5回海外養成塾に参加し、事後研修の場でお誘いを受けたことでした。

には過去に洋大に参加した方が大勢居り、活動の合間に当時の貴重な話を聞かせて貰うこともできました。

色んな事は参加して経験を積んでいきたいと思います。

仲順信介（塾5阪神）

集合場所に着き、設営になると、思っていたよりもタイトなスケジュールで動くことになりましたが、先輩方が一から丁寧に指導してくれました。いざマラソンがスタートすると、先頭団体がとてつもない速さで駆け抜けた後に、「一般走者が向かってくるのですが、こちらの『頑張って下さい』の一言に「ありがとうございます」と返ってきた時はやりがいを感じ、参加して良かったと思いました。また、一緒に

A photograph showing a group of runners in athletic gear running past a long table filled with white plastic cups. Several people in blue uniforms and yellow hard hats are standing behind the table, handing out water to the runners. The scene is outdoors on a sunny day.



